姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」成人部広報紙

# ゆうあいだより

障害者支援センター
かしのきの里
在宅障害者デイ・サービスルーム
書写障害者デイサービスセンター
広畑障害者デイサービスセンター
障害者やすらぎルーム　障害者体育館

あぼしリサイクル事業所
ぱっそ・あ・ぱっそ

№178　令和４年(2022年)８月22日発行

暦の上では「立秋」も過ぎましたが、残暑が厳しい今日この頃です。新型コロナウイルス感染症対策に引き続き気を付けつつ、暑い夏を元気に過ごしていきたいものですね。

今季号は、増位中学校での出前授業報告(地域交流推進事業)、今年度から始まった活動班のプログラム“旅レク”の紹介、ホームページ移転のお知らせなども掲載しています。是非、ご一読ください。

## ゆうあいギャラリー

タイトル

「コースター」

障害者支援センター　活動班

アート作業

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。
掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいています。

特集

# 地域交流推進事業

姫路市立障害者支援センター
所長　　高橋 晃

ルネス花北では台風とコロナ禍のため、ここ数年従来の花の北福祉まつりが開催できない状況が続いています。昨年度はその代替事業として「飲んでうれしいはないちもんめ」「作って楽しいはないちもんめ」という２つの事業を地域交流として実施しました。

「飲んでうれしい～」は地域住民の方に無料ドリンクチケットを付けたルネスの紹介チラシを配布し、施設内の喫茶に足を運んでもらい、よりルネスを知ってもらう機会としました。しかし、喫茶営業日が、平日のみという事もあり、あまり多くの方に足を運んでいただくことはできず、課題が残る結果となりました。

「作って楽しい～」は地域の小学生を対象に支援センターの作業を体験できる機会を初めて提供しました。50 名近くの小学生が体験し、とても盛況でした。

ただ、2 つの事業を合わせても 100 人足らずの交流であり、従来の花の北福祉まつりと比べると深く交流できたものの、交流規模が縮小した結果となりました。

そのような中、隣接している増位中学校ともっと交流を図れないか？という意見が出されました。増位中学校とはトライやるウイークで生徒を受け入れたり、福祉まつりの開会式に吹奏楽部が盛り上げてくれるなどの交流があります。中学校と協議を重ねた結果、今年度ルネスの職員が中学校に出向き、出前授業と称し、中学生に対してルネスの紹介や職員の仕事内容、障害についてお話をするということに決まりました。児童部と成人部、それぞれの職員が 1 時限ずつ受け持つこととなり、成人部は 7 月 7 日（木）13：30～14：20 の 50 分で出前授業を行うことになりました。

中学校の図書室から放送しています

現在、増位中学校では感染症対策のため、全校集会や学年集会などは 1 カ所に生徒は集まらず、図書室からオンラインで発信し、生徒は各クラスにあるモニターを見るという方法を取られています。今回の出前授業も各クラスにあるモニターで動画を流し、それに合わせて図書室から音声を流すという方法を採りました。

内容は、支援センターに通うＡさんの日常を紹介することを通して、障害のある人が同じ中学校校区で暮らしているという事をできるだけわかりやすく動画で、生徒に見ていただくことにしました。

シーン①　グループホームでの朝のシーン

グループホームの世話人さんが作ってくださった朝食を 2 人で食べているシーンを流しました。中学生に、障害のある人の暮らしやグループホームでの暮らしを知っていただきたいという意図がありました。

シーン②　グループホームから他の利用者と一緒に通所するシーン

交通量の多い国道３１２号線の押しボタン式信号を渡りますが、信号が青に変わって、車が止まったことを確認して渡るシーンを流しました。障害のある人が道を歩くという事は、こんな危険なことがあるという事を知ってほしいという意図がありました。

シーン③　支援センターの洗車班で働くシーン

洗車作業で仲間と力を合わせて １ 台の車を洗います。特に暑い夏の洗車班は大変ですが、仲間と生き生きと働いている様子を見てもらうことで、仲間と一緒に働くことの大切さや障害があってもこんな働き方があるということを知ってほしいという意図がありました。

シーン④　グループホーム帰宅後 A さんが明日の準備をするシーン

人に手伝ってもらう事もあるけれど、自分でできることはできるだけ自分でするということを知ってほしいという意図がありました。

中学生がモニターを通して視聴しています

動画を撮ることで、改めて職員もいろいろな発見がありました。

１ つ目はどんなシーンを撮影していてもＡさんはニコニコとよい表情で撮影に応じてくれました。主人公として撮影されていることが嬉しそうでした。人によっても差異はあると思いますが、Ａさんは人が注目してくれるのが好きなのだと感じました。

２ つ目は通所の場面で道路の中央付近を歩いているため、後ろから来た車にひやりとすることもありましたが、車が徐行して避けるようにゆっくり追い越してくれていました。毎日同じ時間に同じ道を歩いているので、運転手さんも気を付けるように注意していただいていると思います。障害のある人が暮らしているという事が地域の人々にも浸透していると実感する場面でした。

３ つ目は仲間と一緒に協力する姿が印象的でした。通所するとき、Ａさんは他の利用者と一緒に手をつないで歩いており、その友達をリードする様子がありました。逆に食事の場面では友達がＡさんのためにお茶を入れてくれることもありました。見ていてほのぼのとして胸に熱いものが広がる思いでした。

７月 22 日（金）に中学校の先生と意見交換会がありました。今回の企画は中学校でも初めての試みであったため、いくつか課題がありましたが、おおむね好印象を持たれたようです。最後に、中学生が書いてくれた感想文を紹介して今回の事業の報告とします。

「今日ビデオに出てきた４人が暮らしているグループホームが家から近いので主役のＡさんなどいろんな人をよく横断歩道などで見かけます。障害者は危険と隣り合わせということを聞いて私も危ないと思ったら、声をかけて一緒に横断歩道を渡ってあげようと思いました。」

「ルネス花北では私たちの名札も作っていただいていると聞いて驚きました。いつも多数の名札を作っていただいてありがとうございます。障害者の皆さんが暮らしやすい社会になるよう、私たちも少しでも力になって頑張りたいと思います。」

※　行事については、十分な感染防止対策を取り実施しています。

## 活動報告１　じゃらんじゃらんウィークを実施しました

書写障害者デイサービスセンター　梶本 聖子

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方々や利用者家族を招待しての大規模な開催はできませんでしたが、「じゃらんがしたい」という利用者の声から、利用者のみ参加という形で開催する運びとなりました。まず、開催に向けてどのようなことをしたいか話し合う機会を設けたところ、話し合いの中で「音楽が聴きたい」「お化け屋敷がしたい」「ゲーム系がしたい」等様々な意見が出されました。全利用者が参加できるよう日程調整を行い、『じゃらんじゃらんウィーク』として３日間開催し、１日目は Tatsuya さん、２日目は EMI&GEN さんによるコンサート、３日目は縁日をイメージし、お化け屋敷、スーパーボールすくい、パターゴルフをスタンプラリー形式で行いました。コンサートでは、ペンライトや光るうちわを振って会場の雰囲気を盛り上げ、２日間とも素敵な歌声にみなさん聴き入っていました。３日目のスタンプラリーも好評で、特にお化け屋敷の人気が高く、怖いけど見たいというドキドキ感を味わい、みなさん楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。また、この３日間は給食でも、そばめし、たこ焼き、焼き鳥、ベビーカステラ、チョコバナナ等が出され、お祭り気分を味わいながら美味しくいただきました。

地域の方々と交流はできず、縮小した開催となりましたが、みなさんの笑顔を見ると企画してよかったと思う３日間となりました。

## 活動報告２　夏を先取り！　ミニ広畑まつり

広畑障害者デイサービスセンター　東 陽介

６月22日（水）、23日（木）の２日間、恒例の「ミニ広畑まつり」を開催しました。

午前中は水鉄砲と的当てに加え、22 日はヨーヨー釣り、23 日はスーパーボールすくいを行いました。特に、ディズニーキャラクターを的にした「水鉄砲」は、制限時間内に落とした的の数が得点になり、大変盛り上がりました。「まつりの中で一番楽しかった」と利用者には大好評でした。表彰式では総合得点が上位３位までの方に手作りのメダルが授与され、写真撮影では嬉しそうな表情が見られました。

午後からは UFO キャッチャーを使ってくじ引きをしました。景品がかかると目の輝きが違いました。また、「かふぇひろはた」で選んだ飲み物を飲み、ゆっくりと過ごしました。さらに 22 日はディズニーパレードでダンス、23 日は応援合戦を小グループに分かれて披露しました。応援合戦では「六甲おろし」等を歌いながら楽器演奏をしたり、ドリフの「いい湯だな」にオリジナルのセリフを入れて歌うと、会場は大爆笑でした。

今年度も一人ひとりの思いが詰まった盛りだくさんの行事となりました。今後も新企画満載の楽しい広畑まつりを全員でつくっていきたいと思います。

活動報告 3

# 旅レクでGO！

障害者支援センター　活動作業グループ　活動班　中川 明美

新型コロナウイルスの流行で、外出しての喫茶利用やカラオケなど、活動プログラムを制限せざるを得ない状況が続いています。その中でもみなさん残念だったのが、毎年恒例だった貸し切りバスをつかっての日帰り旅行です。代替行事として、支援センター全体で「コスティバル」など楽しいイベントも企画しましたが、日帰り旅行が中止になった寂しさは否めませんでした。そんな中、行けなくなった日帰り旅行に、レクリエーションの中だけでも行ってみよう！と誕生したのが「旅レク」という活動プログラムです。

月に一回、日本全国を旅しようという企画です。北海道から沖縄まで行先は様々です。段ボールで作った黄色いはとバスに、みんなで乗って出発します。出発のテーマ曲は長年活動班の利用者さんがカラオケで楽しまれてきた曲、「浪漫飛行」です。そして目的地に到着すると、利用者と職員が手作りしたその地ならではの名所や特産品、ゆるキャラが登場し、盛り上げます。ゆるキャラダンスや、特産品探しなど自然と身体を動かせる内容になっています。

北海道ではメロンを収穫してメロンダンス、京都では舞妓さんに変身、奈良では大仏を拝んで「せんとくんダンス」、淡路島では玉ねぎ拾い、兵庫では六甲おろし、鳥取では妖怪退治、香川ではうどんダンス、高知ではかつおの一本釣り、沖縄では海中散歩など、ご当地カラー全開のレクリエーションを楽しみました。そして、終わりは再び「浪漫飛行」をＢＧＭにはとバスで帰路につきます。

プログラムの数日前から創作の時間にモニュメント作りをしたり、部屋の壁面を飾ったり、休憩時間には目的地の動画を流したりと、少しずつ予告しながら、わくわく感をもって参加できるようにしました。当日は利用者のみなさんも職員も、とても盛り上がり、元気いっぱい参加されていました。

次はどこへ旅するのか、利用者のみなさんも職員も楽しみにしています！

班紹介

# 市役所古紙回収頑張っています！！

かしのきの里　クリーン作業班　立花 知花子

かしのきの里では、平成２年頃から市役所庁舎内の古紙回収の仕事を開始し、現在は、利用者４名、職員１名で、コピー用紙・古紙・新聞・段ボールの回収業務を行っています。

開始当初は、回収箱は段ボールでしたが、今は回収用のケースも折り畳みコンテナになり、コピー用紙と古紙ではわかりやすく色分けされ、整理もしやすくなっています。

回収場所は、北別館と東館、本館で、本館には議員会館も含まれます。回収場所は全部で 132 ヶ所あり、その全ての場所を一人ひとりが覚えており、２グループに分かれて作業を行っています。

各課入室時にはノック、挨拶をして回収していきます。市役所職員が仕事をしている近くを通ることも多いため、その都度お辞儀や声をかけてしっかりと挨拶をしています。また、本庁１階には市民の皆さんもたくさん来られているため、回収用ケースを乗せた台車は気を付けて押すように声をかけあって仕事をしています。作業中も台車は通行の邪魔にならない所に置くようにしており、使用するエレベーターも決まった所を使用しています。

毎日、回収しては地下の倉庫に運び整理することを繰り返し行っており、倉庫が山積み状態になることも多いです。重たいコピー用紙や古紙が入ったカゴを積み上げていく作業は重労働です。夏場は特に汗だくになって大変ですが、毎日の回収で顔なじみになった市役所職員の皆さんからも気軽に声をかけてもらい、楽しくやりがいを持って仕事に取り組めています。これからも古紙回収の仕事を続けていきたいと皆さん頑張っています。

## お知らせ

☆事業所ホームページが移転しました☆

令和４年３月より７事業所のホームページのＷｅｂサイトを移転しました。
これまでは姫路市総合福祉通園センター（総合福祉通園センター・ルネス花北 ｜ 姫路市(himeji.lg.jp)）内のサイトにホームページを置いていましたが、令和４年３月より社会福祉法人姫路市社会福祉事業団（トップページ｜姫路市社会福祉事業団（himeji-fukusi.jp)）にホームページのサイトを移転しました。詳細は次のとおりです。

移転事業所

- 障害者支援センター
- かしのきの里
- 広畑障害者デイサービスセンター
- 障害者体育館
- 在宅障害者デイ・サービスルーム
- 書写障害者デイサービスセンター
- 障害者やすらぎルーム

ＵＲＬ：運営施設一覧｜姫路市社会福祉事業団（himeji-fukusi.jp)
運営施設一覧内の障害者施設より閲覧できます。

QR コードはこちら

随時更新していきますので是非ご覧になってください。

# ルネス花北成人部事業所一覧

| 姫路市立　障害者支援センター（多機能型）<br>〒670-0804　姫路市保城 309 番地 1　TEL　079-282-2384　FAX　079-224-6751 | |
|---|---|
| 就労移行支援 | 就職訓練班 |
| 自立訓練 | 自立訓練班 |
| 就労継続支援Ｂ型 | 喫茶班「café ぴあのぴぁ～の」「café あっと・ゆ～る」「ふれあい」<br>製菓班「クッキー工房　樫の詩」・洗車班・作業第一班 |
| 生活介護 | 軽作業班・個別作業班・活動班 |

| 姫路市立　かしのきの里（多機能型）<br>〒671-2246　姫路市打越 1352 番地 6　TEL　079-267-0202　FAX　079-267-0445 | |
|---|---|
| 就労移行支援<br>就労定着支援 | 就労移行班 |
| 就労継続支援Ｂ型 | クリーン作業・陶芸班 |

| | |
|---|---|
| 生活介護 | 姫路市立　書写障害者デイサービスセンター<br>〒671-2203　姫路市書写台二丁目 7 番地 1<br>TEL　079-267-2636　FAX　079-267-2794 |

| | |
|---|---|
| 生活介護 | 姫路市立　広畑障害者デイサービスセンター<br>〒671-1116　姫路市広畑区正門通三丁目 2 番地 2<br>TEL　079-239-1888　FAX　079-239-1898 |

| | |
|---|---|
| 地域活動支援センターⅡ型 | 姫路市立　在宅障害者デイ・サービスルーム<br>〒670-0804　姫路市保城 309 番地 1<br>TEL　079-282-2384　FAX　079-224-6751 |

| | |
|---|---|
| 障害児・者一時保護施設 | 姫路市立　障害者やすらぎルーム<br>〒670-0806　姫路市増位新町二丁目 37 番地<br>TEL　090-2598-9237　FAX　079-224-3173 |

| | |
|---|---|
| 体育施設 | 姫路市立　障害者体育館<br>〒670-0806　姫路市増位新町二丁目 37 番地<br>TEL　079-288-7122　FAX　079-224-3173 |

| | |
|---|---|
| 就労継続支援Ａ型 | あぼしリサイクル事業所<br>〒671-1236　姫路市網干区網干浜 4 番地 1　エコパークあぼし内<br>TEL　079-273-8889　FAX　079-273-8870 |

| | |
|---|---|
| 相談支援事業所 | ぱっそ・あ・ぱっそ<br>〒670-0955　姫路市安田三丁目 1 番地　姫路市総合福祉会館　2 階<br>TEL　079-240-6702　FAX　079-240-6705 |

ゆうあいだより　No.178　令和 4 年（2022 年）8 月 22 日発行
発　行　姫路市総合福祉通園センター成人部
編　集　「ゆうあいだより」編集係